

令和 8年度予算見積調書

課室名：会計課
 担当名：予算係
 内線：2235 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P24	大規模災害への対処体制の強化			一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	一般活動費	
事業期間	令和 7年度～	根拠法令	警察法			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	16
						分野施策	0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsターゲット	16-1
1 事業概要 近年、気候変動の影響に伴い風水害が激甚化・頻発化しているほか、昨年発生した能登半島地震での教訓を踏まえ、被災情報収集の効率化、総合指揮室の機能強化等により大規模災害への対処体制の強化を図る。 ア 被災情報収集の効率化 84,364千円 イ 総合指揮室の機能強化 1,191千円 ウ 通信・映像資機材の整備 4,857千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 被災情報収集の効率化 総合指揮支援システムの機能強化及び災害情報収集システムの使用料 84,364千円 イ 総合指揮室の機能強化 各種システム使用料等 1,191千円 ウ 通信・映像資機材の整備 ドローン関連通信資機材等の維持管理 4,857千円 (2) 事業計画 ア 令和7年度 総合指揮支援システムの地図連携、災害情報収集システムの導入等により、大規模災害への対処体制の強化を図る。 イ 令和8年度 通信指令システムの改修に合わせ、総合指揮支援システムを連携させることで、大規模災害への対処に必要な情報収集体制の更なる強化を図る。 (3) 事業効果 大規模災害発生時における県民の安全・安心を確保する。 【活動指標(アウトプット)】被害甚大地域の迅速な把握及び全職員が視覚的に共有システムにより災害情報を一元化し、収集時間を短縮 【成果指標(アウトカム)】迅速な幹部指揮、警察官の早期現場臨場による被害拡大防止					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		県 債							
決定額	90,412							90,412	△160,994
前年額	251,406	223,000						28,406	

事業内訳書

事業名	大規模災害への対処体制の強化		
単位事業名	被災情報収集の効率化	予算額	84,364千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・警察債	0	△136,000	
一般財源	84,364	64,074	
合計	84,364	△71,926	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	57,200	△79,409	総合指揮支援システム開発委託料
使用料及び賃借料	27,164	7,483	各種システム使用料
合計	84,364	△71,926	

単位事業名	総合指揮室の機能強化	予算額	1,191千円
-------	------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・警察債	0	△69,000	
一般財源	1,191	△415	
合計	1,191	△69,415	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	800	0	総合指揮室機器修繕料
委託料	0	△3,300	
使用料及び賃借料	391	292	インターネット端末借上料
工事請負費	0	△66,407	
合計	1,191	△69,415	

単位事業名	通信・映像資機材の整備	予算額	4,857千円
-------	-------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・警察債	0	△18,000	
一般財源	4,857	△1,653	
合計	4,857	△19,653	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	500	△132	映像資機材修繕料
役務費	3,327	△777	回線使用料、ドローン保険料
委託料	1,030	△814	映像資機材保守委託料、ドローン操縦士訓練費
備品購入費	0	△17,930	
合計	4,857	△19,653	